

ICT活用工事（舗装修繕工）実施要領

（趣 旨）

第1条 今後、生産年齢人口の減少が予想される中、建設現場における生産性向上は避けられない課題となっている。企業の経営環境を改善し、建設現場に携わる人の賃金水準の向上を図るとともに、安全性の確保を推進していく必要がある。

そこで、埼玉県県土整備部発注工事において、情報通信技術（ICT）の全面的な活用の推進を実施するものである。

この要領は、埼玉県県土整備部が発注する建設工事において、「舗装修繕工におけるICTの全面的な活用」（以下、「ICT活用工事（舗装修繕工）」という。）を実施するために必要な事項を定めたものである。

（対象とする工事）

第2条 ICT活用工事（舗装修繕工）は、原則として面積 1,500m² 以上の切削オーバーレイ工又は路面切削工を含む全ての発注工事を対象とする。

（ICT活用工事（舗装修繕工））

第3条 ICT活用工事（舗装修繕工）とは、以下に示す施工プロセスの全ての段階においてICTを活用する工事とする。

【施工プロセスの各段階】

① 3次元起工測量

起工測量において、3次元測量データを取得するため、次の（１）～（５）から選択（複数選択可）して測量を行う。

起工測量にあたっては、施工現場の環境条件により、管理断面及び変化点の計測または面的な計測による測量を選択するものとし、ICT活用とする。

- （１）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- （２）トータルステーション等光波方式を用いた起工測量
- （３）トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
- （４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- （５）その他の3次元計測技術を用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

（１）切削工

発注図書や①で計測した測量データを用いて、施工指示に用いる切削計画を作成する。また、3次元出来形管理を行う場合は3次元設計データを

作成する。

(2) 舗装工（基層・表層）

発注図書や①で計測した測量データを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

③ ICT建設機械による施工

(1) 切削工

②で作成した3次元設計データを用いて、次の1)に示す施工管理システムを搭載した建設機械を用いた施工を実施又は従来型建設機械による施工を選択して施工する。

1) 3次元位置を用いた施工管理システム

(2) 舗装工（基層・表層）

従来型建設機械により施工する。

④ 3次元出来形管理等の施工管理

(1) 切削工

③により施工された工事完成物について、施工管理システムを搭載した建設機械を用いた施工を選択した場合は、次の1)の出来形管理を行う。又、従来型建設機械による施工を選択した場合は、従来手法による出来形管理を行う。

1) 施工履歴データを用いた出来形管理

(2) 舗装工（基層・表層）

舗装工（基層・表層）において、次の1)～5)から選択（複数選択可）して、出来形管理を行う。

1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

2) トータルステーション等光波方式を用いた出来形管理

3) トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理

4) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

5) その他の3次元計測技術を用いた出来形管理

なお、完成検査直前の工事竣工段階の地形（層）以外は、従来手法（出来形管理基準上で当該基準に基づく管理項目）での管理を実施してもよい。

また、施工現場の環境条件により、面的な計測のほか、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもICT活用工事とする。

⑤ 3次元データの納品

①、②、④により確認された3次元施工管理データ等を、工事完成図書として納品する。

（発注方式）

第4条 ICT活用工事（舗装修繕工）の発注は、受注者希望型によるものとする。

(受注者希望型)

第5条 受注者希望型は、受注者からの希望により I C T活用工事（舗装修繕工）を実施するものとする。

2 発注に当たっての積算は、I C Tによらない従来の積算基準によるものとする。

3 発注者は、発注に際して入札公告に I C T活用工事（舗装修繕工）の対象であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うものとする。

4 受注者は、I C T活用工事（舗装修繕工）の実施を希望する場合、契約図書に付された特記仕様書に基づき発注者に協議するものとする。

5 発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、受注者は、I C T活用工事（舗装修繕工）を実施することができるものとする。

6 発注者は、I C T活用工事（舗装修繕工）の実施を指示した場合、積算要領[※]の I C Tに対応した積算基準に基づき設計変更するものとする。

※国土交通省 HP「要領関係等（ICT の全面的な活用）」に記載の最新の積算要領を準用する。

【https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html】

(基 準)

第6条 I C T活用工事（舗装修繕工）の実施にあたっては、国土交通省が定めた要領及び基準を準用するものとする。準用する要領及び基準については、別途定める。

附 則

この要領は、令和3年 2月22日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年 2月 1日から施行する。